

# 年頭ご挨拶

一般社団法人日本薬局協励会  
会長 小田 美良



**新**年明けましておめでとうございます。先生方におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、一般社団法人日本薬局協励会ならびに日邦薬品工業株式会社、日邦商事株式会社に格別なご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。本年も変わらぬご支援、ご協力をお願いいたします。また、「最大よりも最良の薬局たらん」を基本理念に掲げ、国民の健康づくり、健康寿命の延伸に貢献できる「かかりつけ薬局・かかりつけ薬剤師」として未病のお客さまへの保健薬、サプリメントの提案のため、OTC医薬品の適切な販売、処方せんへの応需など、日々自己研鑽されていることに深く敬意を表します。

昨年を振り返ると、世界規模の地球温暖化による山火事、豪雨による洪水、猛暑等の災害が続き、会員先生方も被害を受けられたことに心よりお見舞い申し上げます。また、コロナ感染者の増加と医療の切迫を受け、薬剤師としてワクチン接種への協力、感染予防のため地域に貢献いただき、その姿勢に対し心から尊敬の意を表します。

コロナ禍のもと明るいニュースの少ない一年でしたが、1年間延期された2020東京オリンピック・パラリンピックが開催されました。そのほかにはアメリカ・メジャーリーグの大谷翔平選手の投手・打者としての大活躍が私たちを楽しませてくれました。温暖化で世界が脅かされているなか、10月にブ

リンストン大学上席研究員の眞鍋淑郎氏がノーベル物理学賞を受賞されました。ご存じの通り、眞鍋氏は1960年代に気候変動の物理モデル開発をリードし、現在の気候変動予測の基礎を築きました。そして、大気中の二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)濃度の上昇が地球表面の温度上昇をもたらす仕組みを解明されたことを評価されました。カーボンニュートラルが世界中で取り組まれているなか、日本人としてお祝い申し上げたいと思います。

協励会においては、「率先垂範〜<sup>そっせんすいはん</sup>今こそ協励会! 地域を支える薬局であるために〜」をテーマに、第72回大阪全国大会がオンラインで開催され、仲間と会いたい思いが一層強くなる一年でもありました。大会では「新しい時代に向けて、真の三位一体とは」と題したパネルディスカッションも配信され、協励会の将来のあるべき姿が示されたことと信じています。

新型コロナウイルスの克服に日本全国が立ち向かってきたこの2年間、人々の生活様式は一変し、人・物の流れ、対人のあり方、オンライン服薬指導など、薬局を取り巻く環境も大きく変わってきています。2019年(令和元年)12月に公布された「改正薬機法」の一部、「法令遵守体制の整備」「薬局認定制度の創設」「添付文書の電子化」等が、昨年8月から施行されました。中でも特筆すべきは、薬局の認定制度(地域連携薬局・専門医療機関連

携薬局)の創設です。すべての薬局が有すべき機能なので、基準を満たしぜひ申請してください。また、私たち協励薬局ではお客さまの理解を深めるため、セミナー等を通して手書きPOPの書き方などを学んできましたが、薬機法における広告規制「第10章 医薬品等の広告(虚偽・誇大広告)の記載内容」を確認していただき、コンプライアンスの観点から自店のPOPやチラシ等をいま一度総点検してください。

新しい協励様式のなか、2022年(令和4年)2月13日(日)に第21回熊本青年全国大会、3月20日(日)に第20回女性全国大会in金沢をオンラインで開催します。続いて4月9日(土)、10日(日)には令和3年度定時運営委員会および幹部セミナー、6月18日(土)、19日(日)には「不易流行〜報恩感謝の心を持って〜」をテーマに、第73回東京全国大会を開催します。新型コロナウイルス感染症が収まり、全国の先生方とお会いできることを心より願っています。

協励会は協励精神である「自己完成、与える精神、報恩感謝の心」の三つの柱を大切にしながら、新しい生活様式に即した地域のなかで、「独自性」「専門性」「利便性」を追求し、広く国民の健康づくりに貢献してまいり所存です。

会員先生方のご健勝とお店のご繁栄を心より祈念申し上げ、新年の挨拶といたします。